

栃木県原水協ニュース

No 176号 2018年3月3日
 原水爆禁止栃木県協議会
 〒321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30
 栃木県労連気付 電話 028-653-1401
 メールアドレス: togken-gensuikyo@outlook.jp

3・1ビキニデー集会に栃木県から14名参加



日本原水協集会・全体集会
 2月28日、栃木県代表団は東京駅集合7名、会場の静岡グランシップにて合流4名の11名が参加しました。
 集会には全国から850人が参加しました。基調報告で日本原水協の安井正和事務局長は、禁止条約が国際政治に新たな変化をつくりだしたと述べ、核兵器の全面禁止・廃絶へ被爆国の運動の役割を発揮を訴えました。来賓としてあいさつした日本被団協の和田征子事務局長は、禁止条約で「重い扉が開いた」と述べ、署名運動を力強く進めようと呼びかけました。また、オール沖縄会議現地闘争本部からは、沖縄の米軍基地の現状と辺野古新基地建設阻止のたたかいについて発言がありました。全体集会後の分科会では複数のところで初参加者が3割を超えていました。
 焼津に移動後、20時前から夕食交流会が持たれ、2時間余りの楽しく充実した会になりました。



献花墓参平和行進・ビキニデー集会
 3月1日、3名の当日参加者を加えて、栃木県代表団は14名で行進に参加しました。出発前には雨は上がりましたが、強い風の吹き荒れる中、幟を持つ手に力を入れて元気に行進に出発しました。
 久保山愛吉氏墓前祭の後、「被災64年3・1ビキニデー集会」に参加しました。海外代表を含め1800人が参加（第五福竜丸の元乗組員と核実験場の被害者が被ばくの実相と核兵器廃絶の願いを語り、ビキニデーを跳躍台に「ヒバクシャ国際署名」を飛躍させるなどのアピールが採択されました。）

小山市「ヒバクシャ国際署名推進委員会」

は、2月に小山市長さんに「ヒバクシャ国際署名」に署名をしていただこうと、申し入れを行いました。市長の署名は断れましたが、市の職員から40筆の署名が寄せられました。また同委員会は3月議会に日本政府に禁止条約の署名、批准を求める陳情書を提出しました。

現在の「ヒバクシャ国際署名」数

諸団体	県北原水協	1,780筆
	県南原水協	62筆
	宇都宮市原水協	1,096筆
	非核の会	128筆
	新婦人の会	5,974筆
	民医連	1,797筆
	保険医協会	291筆
	県原水協	134筆
	小山推進委員会	100筆
	非核下野市の会	264筆
自治体	県労連	23筆
	日光市	953筆
	下野市	238筆
	栃木市	81筆
	小山三川	40筆
合計		13,121筆

(3月2日現在)

この日は、「ヒバクシャ国際署名」70筆、社会保障33筆が寄せられました。



「虹のバレンタイン行動」に60人が参加し、リーレトック、署名、シール投票など行いました。県原水協もこの行動に参加し、「ヒバクシャ国際署名」を訴えました。「何の署名だか」と、声をかけた男性は「核兵器はなくさなくちゃ」と署名に応じてくれました。

栃木保健医療生活協同組合は、2月17日、宇都宮市オリオン通りで「安倍9条改憲NO! 3000万署名」「ヒバクシャ国際署名」「社会保障制度の拡充を求める署名」の3署名行動を行いました。

お知らせ

**2018年原水爆禁止国民平和進行栃木県実行委員会
 結成総会の開催について**

日時：3月31日(土) 午後1時30分～

会場：宇都宮市・とちぎ健康の森 教室A